

平成 1 8 年度 農作物病虫害発生予察 9 月月報

平成 1 8 年(2006年) 1 0 月 4 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

気象概況

山口市大内御堀

月・半旬	気 温 ()								
	9 時			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	25.9	25.0	0.9	30.2	29.7	0.5	21.1	21.0	0.1
9.2	24.1	24.0	0.1	27.6	28.7	1.1	21.8	20.0	1.8
9.3	20.7	22.9	2.2	25.5	27.9	2.4	17.1	18.8	1.7
9.4	22.0	22.0	0.0	27.0	27.0	0.0	18.9	17.9	1.0
9.5	20.9	21.0	0.1	26.7	26.1	0.6	15.3	17.0	1.7
9.6	21.2	19.6	1.6	27.2	25.1	2.1	15.6	15.4	0.2
平均・計	22.5	22.4	0.1	27.3	27.4	0.1	18.3	18.3	0.0
月・半旬	湿度 (%)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	9.1	88.5	86.5	2.0	0.0	30.3	30.3	35.8	29.3
9.2	92.5	87.6	4.9	70.5	39.5	31.0	16.7	26.1	9.4
9.3	91.1	84.9	6.2	35.0	32.1	2.9	12.7	25.1	12.4
9.4	100.0	84.9	15.1	71.0	27.6	43.4	20.0	26.6	6.6
9.5	-	84.3	-	0.0	30.9	30.9	45.6	23.8	21.8
9.6	-	87.4	-	0.0	26.1	26.1	45.5	24.9	20.6
平均・計	93.0	85.9	7.1	176.5	186.5	10.0	176.3	155.8	20.5

注) 9月9～10日及び17日以降については、農業試験場観測データの欠測のためアメダスのデータで代用した。湿度については代用できるデータがないため、データを補わずに算出した。

作物の生育状況

- (1) イネ : 台風13号により、瀬戸内沿岸部で潮風害が発生した。極早生種の成熟期は平年並みから早く、バラツキが大きかった。
- (2) ダイズ : 台風13号により葉の損傷被害が発生した。
- (3) カンキツ : 果実の肥大は平年に比べやや遅れた。
- (4) ナシ : 果実の肥大は平年に比べやや小さかった。
- (5) ハクサイ、キャベツ、はなっこりー
: 乾燥のため、生育に遅延が見られた。台風13号による被害が見られ、特に沿岸部では被害程度が大きかった。

病害虫の発生概況

1 普通作物

2006年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ(調査ほ場数： 中旬 49・下旬 18) 穂いもち	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.6%(<u>平</u> 年32.8%)、発病株率2.8%(平年8.3%)、発病穂率0.8%(平年1.2%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.7%(平年29.5%)、発病株率3.3%(平年7.9%)、発病穂率0.2%(平年1.4%)で平年並みであった。	県内全域	中 284 <u>少</u> 1,135 計 1,419
紋枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0%(平年48.2%)、発病株率4.2%(平年10.5%)、発病度2.0(平年4.1)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率34.6%(平年52.4%)、発病株率7.5%(平年11.7%)、発病度3.9%(平年5.0%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 3,689
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.6%(平年16.0%)、発病株率5.8%(平年8.9%)、発病度1.4(平年2.7)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.8%(平年20.5%)、発病株率3.8%(平年16.2%)、発病度1.0%(平年5.3%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 567 <u>少</u> 852 計 1,419
白葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.3%)、発病株率0%(平年0.2%)、発病度0(平年0.03)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.3%)、発病株率0%(平年0.2%)、発病度0%(平年0.04%)でやや少なかった。	-	-
もみ枯細菌病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.0%)、発病株率0%(平年0.3%)、発病穂率0%(平年0.02%)で平年に比べやや少なかった。	-	-

2006年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ 稲こうじ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.7%(<u>平年5.2%</u>)、発病株率0.5%(<u>平年0.5%</u>)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.9%(<u>平年11.3%</u>)、発病株率1.1%(<u>平年1.0%</u>)で平年並みであった。	県内全域	少 1,704
内穎褐変病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率78.8%(<u>平年65.6%</u>)、発病穂率3.3%(<u>平年3.1%</u>)で平年並みであった。	県内全域	多 852 <u>少 10,792</u> 計 11,644
トビイロウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率48.1%(<u>平年20.7%</u>)、10株当たり虫数1.7頭(<u>平年7.9頭</u>)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.7%(<u>平年26.9%</u>)、10株当たり虫数5.3頭(<u>平年13.6頭</u>)で平年に比べやや多かった。 9月上旬に山口市阿知須の極早生種で、9月下旬に宇部市、下関市豊北町の中生種で小規模な坪枯れの発生を確認した。	県内全域	中 284 <u>少 7,093</u> 計 7,377
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率88.0%(<u>平年56.6%</u>)、被害株率48.2%(<u>平年23.6%</u>)、被害葉率6.7%(<u>平年2.2%</u>)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率72.2%(<u>平年55.4%</u>)、被害株率30.9%、(<u>平年29.0%</u>)、被害葉率2.9%(<u>平年3.4%</u>)で平年並みであった。	県内全域	甚 567 多 1,419 中 2,554 <u>少 7,945</u> 計 12,485
斑点米カメムシ類	中旬のすくい取り調査における斑点米カメムシ類の発生ほ場率40.0% (前年20.0%)、発生密度0.7頭(前年0.1頭)で前年に比べ多かった。	県内全域	-
ニカメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、被害株率0% (平年0.09%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、被害株率0% (平年0.1%)で平年並みであった。	-	-

2006年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ダイズ 葉焼病、斑点細菌病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3%(平年59.6%)、発病株率3.2%(平年50.3%)、発病度0.8%(平年24.2%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 448
葉腐病	下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年5.4%)、発病株率0%(前年1.8%)で平年に比べやや少なかった。	-	-
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9%(平年49.9%)、1a当たり白変葉か所数は2.6か所(平年1.9か所)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.4%(平年34.6%)、1a当たり白変葉か所数は1.2か所(平年2.4か所)で平年並みであった。主要令期は若令～中令であった。	県内全域	甚 100 多 66 中 67 少 200 計 433
吸実性カメムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1%(前年85.7%)、1m ² 当たり虫数0.4頭(前年1.1頭)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9%(平年66.7%)、1m ² 当たり虫数0.6頭(平年1.5頭)で平年に比べやや少なかった。 主要な種はアオカメムシ、ホハリカメムシ、仔モンカメムシであった。	県内全域	多 33 中 100 少 300 計 433
マヒメヤムシガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率19.1%(前年4.8%)、25株当たり被害度は0.29(前年0.14)で前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8%(平年6.1%)、25株当たり被害度は0.05(平年0.1)で平年並みであった。	県内全域	少 133
ダイズサナバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8%(平年8.4%)、200莢当たり被害莢数0.05莢(平年0.3莢)で平年並みであった。	県内全域	少 33

注1) ダイズは営農組合等の管理ほ場を主体に調査した。

注2) ダイズの発生面積は8月16日現在の市町調べによる。

2 果樹・茶樹

2006年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ(調査ほ場数：22) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100%(平年99.6%)、発病果率81.4%(平年67.6%)、発病度22.3(平年14.6)で平年に比べ多い発生であった。	県内全域	甚 345 多 259 中 864 少 432 計 1,900
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率59.1%(平年21.3%)、発病果率6.7%(平年3.3%)、発病度2.1(平年1.1)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 259 少 777 計 1,036
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.5%(平年18.3%)、発病果率0.05%(平年2.1%)、発病度0.01(平年0.6)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 86
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.7%(平年25.0%)、寄生葉率3.6%(平年3.3%)、10葉当たり雌成虫数0.2頭(平年0.9頭)で平年並みであった。	県内全域	少 432
ヤブカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.5%(平年9.1%)、寄生果率0.1%(平年0.3%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 86
チャノドアザミ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率68.2%(平年49.6%)、被害果率1.6%(平年2.5%)、被害度0.5(平年1.0)で平年並みであった。	県内全域	少 1,295
ナマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.8%(平年32.7%)、寄生果率5.1%(平年2.0%)で平年並みであった。	県内全域	多 173 中 259 少 173 計 605
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率18.2%(平年14.1%)、被害果率1.1%(平年0.7%)で平年並みであった。	県内全域	少 345
ナシ(調査ほ場数：10) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率70.0%(平年86.0%)、発病葉率2.2%(平年7.3%)、発病新梢率39.0%(平年54.3%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 24 少 145 計 169
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平年4.0%)、発病葉率0.0%(平年0.1%)で平年並みであった。	県内全域	少 24
うどんこ病	9月15日に山口市大内で初発生を確認した。下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	山口市	少 1

2006年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ナシ 輪紋病	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	-	-
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年11.0%)、寄生葉率3.3%(平年1.6%)、 10葉当り雌成虫数0.6頭(平年0.9頭)で 平年に比べ多かった。	県内全域	少 48
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年0%)、寄生新梢率0.1%(平年0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 24
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアカカメムシ、ツヤカメムシ、 クサギカメムシ)	9月1半旬～9月5半旬の予察灯(6か所計) における誘殺数は174頭(平年136頭)で 平年に比べやや多かった。優占種は チャバネアカカメムシであった。	県内全域	-

3 野菜

2006年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ(調査ほ場数:中旬6・下旬8) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.1%)、発病株率0%(平年0.2%)、 発病度0(平年0.1)で平年並みであった。	-	-
白斑病	中旬の調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.0%)、発病株率0%(平年2.7%)、 発病度0(平年0.7)で平年並みであった。	-	-
べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.4%)、発病株率0%(平年0.1%)、 発病度0(平年0.01)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年15.4%)、発病株率0%(平年6.4%)、 発病度0(平年1.7)で平年に比べ やや少なかった。	-	-

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ 黒斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.2%)、発病株率0%(平年0.4%)、 発病度0(平年0.1)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.1%)、発病株率0%(平年1.2%)、 発病度0(平年0.4)で平年並みであった。	-	-
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.0%)、10株当たり虫数0頭(平 年0.6頭)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50% (平年9.5%)、10株当たり虫数7.5頭 (平年0.9頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 32 少 95 計 127
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.6%)、寄生株率0%(平年0.4%) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.1%)、寄生株率0%(平年0.2%) で平年に比べやや少なかった。	-	-
ハマダラメカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年0%)、寄生株率1.3%(平年2.4%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.9%)、寄生株率0%(平年0.3%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 32
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、10株当たり虫数0頭(平 年0.02頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年6.0%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭)で平年並みであった。	県内全域	少 32
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年5.5%)、寄生株率0.7%(平年 0.4%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年19.8%)、寄生株率1.5%(平年 0.6%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 64

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年3.3%)、寄生株率0%(平年0.1%)で平年に比べ少なかった。	-	-
ウワバ類	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	-	-
キャベツ(調査ほ場数:5) モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年11.7%)、寄生株率0%(平年0.8%)で平年に比べ少なかった。	-	-
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%(平年12.1%)、寄生株率0.2%(平年0.5%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 39
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年18.1%)、寄生株率0%(平年0.8%)で平年に比べ少なかった。	-	-
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%(平年35.9%)、寄生株率0.8%(平年3.3%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 39
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年7.1%)、寄生株率0%(平年0.4%)で平年に比べ少なかった。	-	-
ハイダラメイガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年6.7%)、寄生株率0.3%(平年0.3%)で平年に比べ少なかった。	-	-
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%(平年8.6%)、寄生株率0.4%(平年0.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 39
はなっこりー (調査ほ場数:中旬2 ・下旬3) 軟腐病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(前年0%)、発生株率0.7%(前年0%)、発病度1.3(前年0)に比べ多かった。発病株は地際部に外傷があり、外傷の部分から腐敗していた。	県内全域	少 1
べと病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、前年並みであった。	-	-
モンシロチョウ	中旬、下旬の巡回調査とも、ほ場率0%(前年50%)、10株当たり虫数0頭(前年1.0頭)で前年に比べ少なかった。	-	-

2006年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
はなっこりー コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (前年0%)、10株当たり虫数1.0頭 (前年0頭) で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年0%)、10株当たり虫数0.3頭 (前年0頭) で前年に比べ多かった。	県内全域	少 4
ヨトウガ	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、前年並みであった。	-	-
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年0%)、寄生株率0% (前年0%) で前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年75%)、寄生株率2.0% (前年9.5%) で前年に比べ少なかった。	県内全域	少 4
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生は認められず、前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年50%)、寄生株率0% (前年3.0%) で前年に比べ少なかった。	-	-
ハマダラメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (前年0%)、寄生株率2.0% (前年0%) で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年50%)、寄生株率0.7% (前年7%) で前年に比べ少なかった。	県内全域	少 4
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生は認められず、前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年50%)、寄生株率0.7% (前年3.5%) で前年に比べ少なかった。	県内全域	少 4
イチゴ (調査ほ場数:20)	8月22日～9月20日に行った防除員による調査の結果、発生ほ場率55.0%、発病株率14.0%であった。品種別の発病株率は、「さちのか」37.3%、「とよのか」3.5%であった。	県内全域	甚 29 多 6 中 6 少 23 計 64

2006年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																												
野菜全般 ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップにおける9月の誘殺数は、4,003頭(平成4,452頭)で平成並みであった。</p> <p>[参] 8/21～9/20のフェロモントラップ誘殺数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平成 (頭)</th> <th>概評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市周東町</td> <td>424</td> <td>534</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>4,049</td> <td>4,658</td> <td>平成並</td> </tr> <tr> <td>山口市名田島</td> <td>4,338</td> <td>4,943</td> <td>前年より少</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>1,243</td> <td>1,180</td> <td>平成並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>2,895</td> <td>2,815</td> <td>前年並</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>123</td> <td>743</td> <td>少</td> </tr> </tbody> </table> <p>阿東町の平成値は過去8年の平均値</p>	地点	本年 (頭)	平成 (頭)	概評	岩国市周東町	424	534	やや少	周南市	4,049	4,658	平成並	山口市名田島	4,338	4,943	前年より少	阿東町	1,243	1,180	平成並	下関市	2,895	2,815	前年並	萩市	123	743	少	県内全域	-
地点	本年 (頭)	平成 (頭)	概評																												
岩国市周東町	424	534	やや少																												
周南市	4,049	4,658	平成並																												
山口市名田島	4,338	4,943	前年より少																												
阿東町	1,243	1,180	平成並																												
下関市	2,895	2,815	前年並																												
萩市	123	743	少																												
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップにおける9月の誘殺数は、113頭(平成36.5頭)で平成に比べ多かった。	県内全域	-																												

注) ハクサイ、キャベツのハイマダラメイガ、キャベツのウワバ類は、過去9年間の平均値を平成値とした。

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電話 083-927-4006
FAX 083-927-4071
テレホンサービス 083-927-4649

作物 担当者
普通作：野崎(病害) 中川浩二(虫害)
果樹：藤村(病害) 殿河内(虫害)
野菜：岡田(病害) 岩本(虫害)
茶：中川浩二(病虫害)